



岡鹿之助《観測所》1951年 静岡県立美術館



岸田劉生《童女図（麗子立像）》1923年 神奈川県立近代美術館

— 春陽会誕生 100 年 —
それぞれの闘い
岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

Artists of Shunyo-kai Celebrating Its 100th Anniversary

2024年3月16日（土）～5月12日（日）

長野県立美術館 展示室1・2・3



長野県立美術館

Nagano Prefectural Art Museum

春陽会誕生 100 年

それぞれの闘い

岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

長野県立美術館では2024年3月16日(土)～5月12日(日)まで、企画展「春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」を開催します。本展では、岸田劉生や萬鐵五郎、木村莊八、長谷川潔、中川一政、岡鹿之助など、草創期から1950年代頃にかけて活躍した画家の作品を中心に、約200点の名品をご紹介します。



小杉放菴《羅摩物語》1928年 東京国立近代美術館

▶開催概要

春陽会は1922(大正11)年に設立された美術団体で、誕生から100年を迎えました。発足時には、再興院展の洋画部から脱退した小杉放菴、山本鼎ら6人、洋画団体・草土社の岸田劉生や木村莊八といったメンバー、そして梅原龍三郎や萬鐵五郎などの日本近代美術史における著名画家が名を連ね、名実ともに洋画界を代表する第三の団体となりました。

それぞれの画家の個性を尊重する自由な会風のもと、春陽会の展覧会には油彩画をはじめとして、水墨画、素描、新聞挿画といった幅広いジャンルが出品されました。西洋の最先端の美術動向にも敏感に反応するとともに、画家自らの内面にある土着的なもの、日本的ないし東洋的なものを表現しようとする傾向が早くから見られたのも特徴と言えるでしょう。また、次世代の育成をも念頭に置いた研究所などの芸術研鑽の場を全国的に展開し、今日に続く春陽会の基盤を固めました。

本展では、草創期から1950年代頃にかけて活躍した画家の作品を中心に紹介し、春陽会で活躍した画家たちの動向や日本の近代美術史における同会の意義を再考します。

▶ 出品作家

岸田劉生（1891-1929）、萬鐵五郎（1885-1927）、木村莊八（1893-1958）、
長谷川潔（1891-1980）、中川一政（1893-1991）、岡鹿之助（1898-1978）ほか

▶ 展覧会概要 「春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」

【会 期】 2024 年 3 月 16 日（土）～ 5 月 12 日（日） ※会期中、一部作品の展示替えを行います。

【会 場】 長野県立美術館 展示室 1・2・3

【開館時間】 9:00 ～ 17:00（展示室入場は 16:30 まで）

【休館日】 水曜日 [3/20（水・祝）は開館]、3/21（木）

【主 催】 長野県、長野県立美術館

【共 催】 長野県教育委員会、一般社団法人春陽会、日本経済新聞社

【特別協力】 東京国立近代美術館

【後 援】 長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、
善光寺、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、
（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本 長野支社、
信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、
TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 長野、INC 長野ケーブルテレビ

【観覧料】 一般 800（700）円、大学生・75 歳以上 600（500）円、高校生以下または
18 歳未満 無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金。

※本館コレクション展及び東山魁夷館との共通料金：一般 1,300 円、大学生・75 歳以上 900 円

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料。

※大学生および 75 歳以上の方は身分が確認できるものをご提示ください。

▶ 関連イベント

● 春陽会と信州の関係をさらに掘り下げる関連イベント

戦後、岡鹿之助を講師として迎えた東北信における鹿苑会の活動や、鹿苑会から派生展開した信州の美術活動について、関係者・研究者が語り合います。

【クロストーク1】

「春陽会と信州—鹿苑会を中心に」

日時：2024年3月16日（土）14:00～15:00

会場：本館 B1F ホール

登壇者：入江観（洋画家・春陽会第100回展記念事業実行委員長）

浦野吉人（洋画家・春陽会会員）

土方明司（川崎市岡本太郎美術館館長）

原田光（岩手県立美術館元館長）

松本透（長野県立美術館館長）

司会／鈴木幸野（長野県立美術館学芸員）

定員：100名

参加費：無料（要観覧券・事前申込不要）

【クロストーク2】

「上田・小県洋画史と春陽会」

日時：2024年4月27日（土）14:00～15:30

会場：本館 3F レセプションルーム

登壇者：小笠原正（上田市立美術館学芸員）

日向大季（東御市梅野記念絵画館学芸員）

鈴木幸野・古家満葉（長野県立美術館学芸員）

定員：40名

参加費：無料（要観覧券・事前申込不要）



中川一政《向日葵》1982年 真鶴町立中川一政美術館

【担当学芸員によるギャラリートーク】

日時：2024年4月20日（土）14:00～

会場：本館 展示室1・2・3

参加費：無料（要観覧券・事前申込不要）

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp

長野県立美術館 行 メール：nam-pr@naganobunka.or.jp FAX：026-232-0050

広報用画像申込書

「春陽会誕生 100 年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。

○をつけてく ださい	番号	画像名
	①	岡鹿之助《観測所》1951年 静岡県立美術館
	②	岡鹿之助《窓》1949年 愛知県立美術館
	③	岸田劉生《童女図（麗子立像）》1923年 神奈川県立近代美術館
	④	小杉放菴《羅摩物語》1928年 東京国立近代美術館
	⑤	萬鐵五郎《羅布かづく人》1925年 岩手県立美術館
	⑥	木村莊八《私のラバさん》1934年 愛知県美術館
	⑦	中川一政《駒ヶ岳》1973年 真鶴町立中川一政美術館
	⑧	長谷川潔《小さなアネモネ》1939年 碧南市藤井達吉現代美術館
	⑨	中川一政《向日葵》1982年 真鶴町立中川一政美術館

●貴社についてお知らせください

貴社名 / 媒体名（雑誌、番組名等）

ご担当者名 / 所属部署

ご住所〒










電 話 / FAX

E-mail

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 月 日（ ）に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

広報用画像 ※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メール又はファックスにてお申し込みください。

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 
<p>岡鹿之助《観測所》 1951年 静岡県立美術館</p>	<p>岡鹿之助《窓》 1949年 愛知県美術館</p>	<p>岸田劉生《童女図(麗子立像)》 1923年 神奈川県立近代美術館</p>
<p>④</p> 	<p>⑤</p> 	<p>⑥</p> 
<p>小杉放菴《羅摩物語》 1928年 東京国立近代美術館</p>	<p>萬鐵五郎《羅布かづく人》 1925年 岩手県立美術館</p>	<p>木村荘八《私のラバさん》 1934年 愛知県美術館</p>
<p>⑦</p> 	<p>⑧</p> 	<p>⑨</p> 
<p>中川一政《駒ヶ岳》 1973年 真鶴町立中川一政美術館</p>	<p>長谷川潔《小さなアネモネ》 1939年 碧南市藤井達吉現代美術館</p>	<p>中川一政《向日葵》 1982年 真鶴町立中川一政美術館</p>

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4(善光寺東隣)

TEL:026-232-0052 FAX:026-232-0050

E-mail: nam-pr@naganobunka.or.jp